

18日 佐藤訪米阻止闘争
20日 A I F 総決起集会
21日 防衛庁闘争 (五時渋谷署)



10・8
全園西
11首邪結集を意志一致
情況派を粉碎し諸派を圧倒

全関西1・21首都結集を意志一致

[illegible]

反帝戦線の労働者部隊
の登場で熱気 108 仙台

[illegible]

10 赤ヘル、全道を席捲

10 独立社学同を解

〔解説〕 ①、②、③、④、⑤、⑥、⑦、⑧、⑨、⑩、⑪、⑫、⑬、⑭、⑮、⑯、⑰、⑱、⑲、⑳、㉑、㉒、㉓、㉔、㉕、㉖、㉗、㉘、㉙、㉚、㉛、㉜、㉝、㉞、㉟、㊱、㊲、㊳、㊴、㊵、㊶、㊷、㊸、㊹、㊺、㊻、㊼、㊽、㊾、㊿、

羽田三周年闘争貫徹

10.10 愛媛反帝戰線

【松山支局】今園の周遊諸君ノ機
皮諸君諸君ノ我々愛護帝位機
は、10・10入替休明紛争、愛護
力尽す（「入替、愛護、公議」）

○という決意を演者は、更に
三、四年を統一行動として闘
ひたい。

一時よりの物一事会において、せざるを得ないことも同時に明らかになつた。

にされ、婦人内職、世界革命戦争の本格的な力闘争にむけ、帝國の産業革命大、正統派の創出、ソへと、急激な反響統一

と席捲

を解体

五・三 櫻中同窓會 櫻中會以
及大の第一行のあたり六・二

力は運動派のテロ・リンチをもはねのけ、大衆においては投石戦を非利的に賞讃したのであった。

われわれは、この成果を踏まえ
一〇・二〇・三二連統関係におい
ては、聖命教員を大分大に完全
だが、この懸念にも相せず、
人デロを隊列に加えた。

に敗退し、全札幌を掌握するであ
うことを固く意図一致している
。要するに一・八砲大本部死守
部隊の勇退を待つのである。

第一周年調査においては、先大内閣に二〇名の反帝義勇を擁護させ、それ以外の政黨外には、新聞記者、軍人、官吏、學者、實業家、社會主義者、宗教家、婦人等、各界の代表者を加へて、議院議員の半數以上を占め、議會の閉止にも力を用ゐた。この結果、議院は開會し、議決案が通過した。これは、日本の歴史に於ける初めての出来事である。

（三）

（四）

（五）

（六）

（七）

（八）

（九）

（十）

（十一）

（十二）

（十三）

（十四）

（十五）

（十六）

（十七）

（十八）

（十九）

（二十）

（二十一）

（二十二）

（二十三）

（二十四）

（二十五）

（二十六）

（二十七）

（二十八）

（二十九）

（三十）

（三十一）

（三十二）

（三十三）

（三十四）

（三十五）

（三十六）

（三十七）

（三十八）

（三十九）

（四十）

（四十一）

（四十二）

（四十三）

（四十四）

（四十五）

（四十六）

（四十七）

（四十八）

（四十九）

（五十）

（五十一）

（五十二）

（五十三）

（五十四）

（五十五）

（五十六）

（五十七）

（五十八）

（五十九）

（六十）

（六十一）

（六十二）

（六十三）

（六十四）

（六十五）

（六十六）

（六十七）

（六十八）

（六十九）

（七十）

（七十一）

（七十二）

（七十三）

（七十四）

（七十五）

（七十六）

（七十七）

（七十八）

（七十九）

（八十）

（八十一）

（八十二）

（八十三）

（八十四）

（八十五）

（八十六）

（八十七）

（八十八）

（八十九）

（九十）

（九十一）

（九十二）

（九十三）

（九十四）

（九十五）

（九十六）

（九十七）

（九十八）

（九十九）

（一百）

（一百一）

（一百二）

（一百三）

（一百四）

（一百五）

（一百六）

（一百七）

（一百八）

（一百九）

（二百）

（二百一）

（二百二）

（二百三）

（二百四）

（二百五）

（二百六）

（二百七）

（二百八）

（二百九）

（三百）

（三百一）

（三百二）

（三百三）

（三百四）

（三百五）

（三百六）

（三百七）

（三百八）

（三百九）

（四百）

（四百一）

（四百二）

（四百三）

（四百四）

（四百五）

（四百六）

（四百七）

（四百八）

（四百九）

（五百）

（五百一）

（五百二）

（五百三）

（五百四）

（五百五）

（五百六）

（五百七）

（五百八）

（五百九）

（六百）

（六百一）

（六百二）

（六百三）

（六百四）

（六百五）

（六百六）

（六百七）

（六百八）

（六百九）

（七百）

（七百一）

（七百二）

（七百三）

（七百四）

（七百五）

（七百六）

（七百七）

（七百八）

（七百九）

（八百）

（八百一）

（八百二）

（八百三）

（八百四）

（八百五）

（八百六）

（八百七）

（八百八）

（八百九）

（九百）

（九百一）

（九百二）

（九百三）

（九百四）

（九百五）

（九百六）

（九百七）

（九百八）

（九百九）

（一千）

（一千一）

（一千二）

（一千三）

（一千四）

（一千五）

（一千六）

（一千七）

（一千八）

（一千九）

（二千）

（二千一）

（二千二）

（二千三）

（二千四）

（二千五）

（二千六）

（二千七）

（二千八）

（二千九）

（三千）

（三千一）

（三千二）

（三千三）

（三千四）

（三千五）

（三千六）

（三千七）

（三千八）

（三千九）

（四千）

（四千一）

（四千二）

（四千三）

（四千四）

（四千五）

（四千六）

（四千七）

（四千八）

（四千九）

（五千）

（五千一）

（五千二）

（五千三）

（五千四）

（五千五）

（五千六）

（五千七）

（五千八）

（五千九）

（六千）

（六千一）

（六千二）

（六千三）

（六千四）

（六千五）

（六千六）

（六千七）

（六千八）

（六千九）

（七千）

（七千一）

（七千二）

（七千三）

（七千四）

（七千五）

（七千六）

（七千七）

（七千八）

（七千九）

（八千）

（八千一）

（八千二）

（八千三）

（八千四）

（八千五）

（八千六）

（八千七）

（八千八）

（八千九）

（九千）

（九千一）

（九千二）

（九千三）

（九千四）

（九千五）

（九千六）

（九千七）

（九千八）

（九千九）

（一万）

（一万一）

（一万二）

（一万三）

（一万四）

（一万五）

（一万六）

（一万七）

（一万八）

（一万九）

（二万）

（二万一）

（二万二）

（二万三）

（二万四）

（二万五）

（二万六）

（二万七）

（二万八）

（二万九）

（三万）

（三万一）

（三万二）

（三万三）

（三万四）

（三万五）

（三万六）

（三万七）

（三万八）

（三万九）

（四万）

（四万一）

（四万二）

（四万三）

（四万四）

（四万五）

（四万六）

（四万七）

（四万八）

（四万九）

（五万）

（五万一）

（五万二）

（五万三）

（五万四）

（五万五）

（五万六）

（五万七）

（五万八）

（五万九）

（六万）

（六万一）

（六万二）

（六万三）

（六万四）

（六万五）

（六万六）

（六万七）

（六万八）

（六万九）

（七万）

（七万一）

（七万二）

（七万三）

（七万四）

（七万五）

（七万六）

（七万七）

（七万八）

（七万九）

（八万）

（八万一）

（八万二）

（八万三）

（八万四）

（八万五）

（八万六）

（八万七）

（八万八）

（八万九）

（九万）

（九万一）

（九万二）

（九万三）

（九万四）

（九万五）

（九万六）

（九万七）

（九万八）

（九万九）

（十万）

（十万一）

（十万二）

（十万三）

（十万四）

（十万五）

（十万六）

（十万七）

（十万八）

（十万九）

（十一万）

（十一万一）

（十一万二）

（十一万三）

（十一万四）

（十一万五）

（十一万六）

（十一万七）

（十一万八）

（十一万九）

（十二万）

（十二万一）

（十二万二）

（十二万三）

（十二万四）

（十二万五）

（十二万六）

（十二万七）

（十二万八）

（十二万九）

（十三万）

（十三万一）

（十三万二）

（十三万三）

（十三万四）

（十三万五）

（十三万六）

（十三万七）

（十三万八）

（十三万九）

（十四万）

（十四万一）

（十四万二）

（十四万三）

（十四万四）

（十四万五）

（十四万六）

（十四万七）

（十四万八）

（十四万九）

（十五万）

（十五万一）

（十五万二）

（十五万三）

（十五万四）

（十五万五）

（十五万六）

（十五万七）

（十五万八）

（十五万九）

（十六万）

（十六万一）

（十六万二）

（十六万三）

<

を「ヤンパス外に追い求めた」のである。

全國の開港通商、「醫藥」辯論者
讀者に問ひかけにしておく。

二五〇名が結集—中部叛軍 討論集會
小西元三曹を迎え、21闘争へ

明治・小内照三・小内繁雄
明治地産興業会へ平漢の茶葉を寄るべく、繁雄等の監製の一〇年代
における茶葉の銘章を贈らにす
ることに決まると定められている
地区の茶の産地であった。昭和

練馬基地闘争に決起

[illegible]

10・21へ進撃！

[illegible]

丁勳相再收容に抗議

[illegible]

構造

11月号 160円

160門

特集■人間の自由と解放

自由主義と社会主義

解説とは批判の言語である。

職を知りしれを知ることを……
現代國家の歴史的地位
の一端をへむかふの數縁
佐藤南男 タニエラ・グラシ／清水
五郎平 他

12月号 百年顯明編

村上一郎・栗谷秀雄・河野清子・立室
山下洋輔・相倉久人・新野サトル・
聖名壽三土 東京屋中

七〇年代労働戦線への わが同盟の基本的任務

わが同盟は、戦後、労働運動の発展に努めてきた。その結果、労働者の地位は著しく向上し、労働条件は改善された。しかし、七〇年代は、労働運動に新たな課題が山積みである。この課題を克服するためには、わが同盟は、基本的任務を遂行しなければならない。

第一、労働者の団結を強化することである。労働者は、個々の力では、資本家に勝つことができない。団結して、共同戦線を築くことが、労働者の唯一の生路である。わが同盟は、労働者の団結を促進するために、あらゆる努力を怠らない。

第二、労働者の教育を徹底することである。労働者は、単に労働者としてだけでなく、社会の一員として、政治的・経済的に自立しなければならない。わが同盟は、労働者の教育を通じて、その意識を高め、行動力を養うことに努める。

第三、労働者の生活向上に努めることである。労働者は、労働によって得た利益を、生活の向上に還元しなければならない。わが同盟は、労働者の生活向上のために、あらゆる努力を怠らない。

Ⅰ 組合主義経済主義との党 派闘争と階級的労働運動

組合主義経済主義は、労働運動の発展を阻害する。この主義は、労働者を個々の組合に束縛し、階級的闘争を否定する。わが同盟は、この主義を徹底的に批判し、階級的労働運動を推進する。

階級的労働運動とは、労働者が、階級的立場から、資本家と闘争することである。これは、労働者の唯一の生路である。わが同盟は、階級的労働運動を推進するために、あらゆる努力を怠らない。

Ⅱ 蜂起の陣型創出にむけた 生産点での党建設

蜂起の陣型とは、労働者が、生産現場で、自衛的組織を築くことである。これは、労働者の唯一の生路である。わが同盟は、蜂起の陣型を創出するために、生産現場での党建設に努める。

Ⅲ 中電マセストから何を 学び何を総括するか

中電マセスト事件は、労働運動の重要な教訓である。わが同盟は、この事件から学び、総括し、労働運動の発展に努める。

諸党派の反動的回帰を粉砕し 軍事を組織する党建設を！

共産主義者同盟労働者組織委員会

諸党派の反動的回帰は、労働運動の発展を阻害する。わが同盟は、この回帰を粉砕し、軍事を組織する党建設を推進する。

軍事とは、労働者が、自衛的組織を築くことである。これは、労働者の唯一の生路である。わが同盟は、軍事を組織するために、あらゆる努力を怠らない。

Ⅴ 恒常的武装闘争の時代 におけるわが同盟の任務

恒常的武装闘争の時代は、労働運動に新たな課題を提起する。わが同盟は、この課題を克服するために、恒常的武装闘争の時代における任務を遂行しなければならない。

名古屋 9 23-25 連続で叛軍へ決起

理論戦線 第九号

二版発売中

目次
Ⅰ 緊急アピール 反帝戦線結成に向けて 共産同盟政治局
Ⅱ 第一報告「戦略論」 革命論構築に向けて 野田 聖
Ⅲ 現代無政府主義「赤軍派批判」 共産同盟政治局
Ⅳ 第二報告「運動組織論」 社会同盟の組織結核と飛躍の課題 米山 三
Ⅴ 全共闘運動の更なる再編強化をめぐって 米山 三
Ⅵ 東大統一公判 闘争の強化に向けて 渡辺 孝
特別寄稿 過渡期世界の革命 久保 邦三

社会主義学生同盟 理論戦線 編集委員会
B5版 四百円(〒70円)

革命的前進のために

青田には先づ「また」にちかぢ
以上のよう、三二天待機とそ
費への嗜好を強めてつづきそれ
東への特約協定作。正業指移改
製会社の成立以降のこの時

< 6 >

以上のごとき第二次共産党を主として、
 共産党の主張を述べ、つづいてこれを
 東への移行の目的として、正統派と改
 進黨の成立以後の日本の政治情勢を

の過渡の意義と限界の対象化へ！

[illegible]

戒護権に訴訟指揮を従わせる

かかる相図の要津として「民間標準」的側面から一面的世界市場性の面をも規定。しかも、その誤謬内容の不明に至る基礎論的経路の未究明を要する。

「共産主義」覆刻委員会編
七〇年代世界階級闘争に覆刻する
共産主義者同盟の歴史的理論機関誌

上巻 市販980円

吉祥寺ウニタ書店 (吉祥寺下歩車)
 文獻堂書店 (高田馬場下車)
 芥林堂・高野書店 (池袋西口)
 川崎・ソープン堂書店 (川崎日統ビル内)
 神戸・イカロス書店 (三ツの宮下車)
 大阪・大阪ウニタ書店・曽根崎書店
 名古屋・十日書房
 京都・三月書房、よたばた書房
 仙台・八重川書房